

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○不登校在籍比率について

- ・昨年度末の各学年の不登校在籍比率は、1年生12.1%（215人中26人）、2年生11.2%（178人中20人）、3年生18.4%（212人中39人）となり、全学年では14.0%（605人中85人）であった。令和4年度から10%を超えており、学年が上がるに連れて、20%へ近づいている。

○学力・体力の向上について

- ・経年の観点から分析すると、平均値、中央値、ヒストグラムの形状、無回答率は、学年セクト化されたり、特化された教科があるわけではなく、授業者によって大きな差が生じている。また、全国体力・運動能力等調査結果からは、全国や大阪市の体力合計点にとどいていない状況である。

○教職員の勤務時間について

- ・8月から職員会議と学年会、教員のほとんどが参加する校外研修の日は「ゆとりの日」改め、「ノー残業デー」を実施しているが、繁忙期や生徒事案対応と重なることが多いため、実施による効果はほとんど得られていない。
- ・前年度3月の本校の教員一人当たりの平均時間外勤務時間は 48時間35分
今年度3月の本校の教員一人当たりの平均時間外勤務時間は 42時間52分
今年度3月の大阪市中学校の教員一人当たりの平均時間外勤務時間は36時間12分
となっており、勤務時間を教員自身が意識しながら業務にあたる効果はあらわれているが、毎月における時間外勤務時間80時間を超える教員の割合は減少できなかった。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査において、各学年の不登校生徒の在籍比率と学校全体の在籍比率を前年度より減少させる。（基本的な方向1）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・中学校チャレンジテストにおける5教科の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も1.0以上にする。（基本的な方向4）

【学びを支える教育環境の充実】

- ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月35時間以下とする。（基本的な方向6）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている』と回答する教員の割合を100%にする。
- ・年度目標アンケートにおける「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- ・年度目標アンケートにおける「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- ・年度目標アンケートにおける「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、各学年の不登校生徒の在籍比率を前年度以下にする。

令和7年度 1年	令和7年度 2年
12.1%	11.2%

- ・年度末の校内調査における「学校行事に積極的にかかわるなど、楽しい学校生活を過ごさせていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
92.3%	91.1%	94.0%	93.8%

- ・年度末の校内調査における「学校のきまりを守っていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を97.5%以上にする。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
95.8%	95.8%	93.3%	97.4%

- ・年度末の校内調査における「命や人権の大切さについて考えたことがありますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
94.6%	93.4%	97.3%	95.6%

- ・年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を97.3%以上にする。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
96.5%	93.7%	92.6%	97.2%

- ・年度末の校内調査における「本校では、CT の時間をととして「絆」「命」「夢」について指導している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
「絆」	94.2%	95.3%	97.7%	97.0%
「命」	93.9%	95.1%	97.3%	96.8%
「夢」	89.7%	88.6%	90.7%	92.6%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 93% 以上にする。

- ・大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 70% 以上にする。

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
69.4%	64.9%	74.4%	68.6%

- ・年度目標アンケートにおける「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90% 以上にする。

- ・中学生チャレンジテストにおける、国語及び数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1P 以上向上させる。

	1 年 (79 期生)		2 年 (78 期生)	
	国語	数学	国語	数学
令和 7 年度	1.00	0.99	1.02	1.11
令和 6 年度			1.03	1.03
令和 5 年度				

- ・年度末の校内調査における「授業や CT の時間などで「聞き取る」「考える」「伝える」の 3 つの力を身につけていますか。」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
34.1%	38.1%	47.7%	39.0%

- ・年度末の校内調査における「授業に意欲的に取り組んでいますか。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度以上にする。

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
86.3%	87.7%	92.7%	91.2%

- ・年度末の校内調査における「学校からの教材などを活用して家庭学習の習慣化ができていますか。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度以上にする。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
72.1%	71.2%	75.9%	69.9%

- ・年度末の校内調査における「保健体育の授業や部活動をとおして基礎体力の向上に取り組んでいる。」に対して、最も肯定的な「できている」または「そう思う」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
53.3%	53.9%	49.7%	65.1%

【学びを支える教育環境の充実】

- ・年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を50%以上にする。
- ・年度目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- ・年度目標アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を71%以上にする。
- ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月40時間以下とする。
- ・毎月における時間外勤務が80時間を超える教職員の割合を前年度より減少させる。

月(令和7年度)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月の時間外勤務が80時間を 超えた割合	20	10	16	14	2	14	27	4	2	2	0	8
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

3. 本年度の自己評価結果の総括

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている』と回答する教員の割合を100%にする。 ・年度目標アンケートにおける「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。 ・年度目標アンケートにおける「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。 ・年度目標アンケートにおける「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。 ・年度末の校内調査において、各学年の不登校生徒の在籍比率を前年度以下にする。（前年度 1年：12.1%、2年：11.2%） ・年度末の校内調査における「学校行事に積極的にかかわるなど、楽しい学校生活を過ごせていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。（前年度 93.8%） ・年度末の校内調査における「学校のきまりを守っていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を97.5%以上にする。 ・年度末の校内調査における「命や人権の大切さについて考えたことがありますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。（前年度 95.6%） ・年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を97.3%以上にする。 ・年度末の校内調査における「本校では、CTの時間をとおして「絆」「命」「夢」について指導している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。（前年度 「絆」97.0%、「命」96.8%、「夢」92.6%） 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1-1 いじめへの対応】 いじめをはじめとした様々な事案に対して、子どもに寄り添う指導を行い生徒理解に努める。各生徒の状況を全教職員で共通理解し、きめ細かく速やかな対策を講じるとともに、家庭との連携を密にして対応する。(生活指導部)</p>	
<p>指標 ・学期に1回、いじめアンケートを実施する。 ・相談申告機能を活用し、情報の収集に努める。 ・月1回の職員会議にて、いじめや不登校傾向生徒の状況を全教職員で共有する。</p>	
<p>取組内容②【1-2 不登校への対応】 不登校傾向生徒の居場所づくりと家庭支援の充実を図る。職員会議等で生徒の情報共有を充実させる。生徒の状況に合わせ、各関係機関を活用し、不登校生徒の見える化を図る。SSR サポーターと情報共有・連携を行う。スクリーニングシートを活用し、気になる生徒をピックアップして適切な支援や対応に振りわけ、スクリーニング会議を充実させる。(生活指導部)</p>	
<p>指標 ・年度末の校内調査において各学年の不登校生徒の在籍比率を前年度以下にする。 ・月1回いじめ・不登校対策委員会を実施し、いじめや不登校生の状況を全教職員で共有する。</p>	
<p>取組内容③【1-3 問題行動への対応】 学校生活を通じて、日常的に全教職員で集団規律の確立を心掛け、あいさつ・適切な言葉遣い・服装・頭髪等の生徒の規範意識を育む指導を継続的に取り組む。(生活指導部)</p>	
<p>指標 年度末の校内調査における「学校のきまりを守っていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容④【1-5 防災・減災教育の推進】 地震や火災等の発生時に自分で危機を回避するために主体的に行動するとともに、自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりに貢献できる生徒を育成する。(生活指導部)</p>	
<p>指標 防災・減災教育の一環として、年2回以上防災教育を実施し、そのうち1回は地域と連携したものとする。</p>	
<p>取組内容⑤【2-1 道徳教育の推進】 ・様々な教材に触れ、自分の意見も大切にするとともにほかの人の意見を知る機会を授業展開に組み込み、ほかの人の意見も大切にすることを養う。 ・生徒の反応を見取るため、「道徳のきろく」を活用する。(道徳教育G)</p>	
<p>指標 授業毎に「道徳のきろく」に感想を書かせ、自分の考えたことを振り返ることができるようにする。また、授業展開の中に自分の意見を発表する場をつくり、話すこと・聞くことに重点をおく時間をつくる</p>	
<p>取組内容⑥【2-2 キャリア教育の充実】 職業講話や職場体験、および高校進路習を行い、将来の進路選択に対する意識を養う。(キャリア教育G)</p>	

<p>指標 各学年の年間計画に従って、キャリア教育（職業体験・職業講話・高校授業体験等）を実施する。</p>	
<p>取組内容⑦【2－3人権を尊重する教育の充実】 人権課題に対する正しい理解と認識を深め、日常生活の中で自他の生命と尊厳を互いに尊重し合う態度を育むため、年間指導計画に基づいた学年ごとの取り組み、地域・保護者と連携した取り組みを推進する。（人権教育G）</p>	
<p>指標 年間指導計画に基づき、各学年の状況に応じて行う。人権教育に関する取り組みを1回2時間以上で年3回以上実施する。</p>	
<p>取組内容⑧【2－4インクルーシブ教育の充実】 一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援の在り方を工夫し、全教職員で共通理解を図る。通級指導教室についても、教員への共通理解を図る。（特別支援教育推進委員会、特別支援教育G）</p>	
<p>指標 ・教員へ職員会議等で情報を共有する。 ・各支援学校と生徒および保護者、担当教員との連携を深める。 ・インクルーシブ教育推進担当と連携し、教員への理解を深める。</p>	
<p>取組内容⑨【2－5多文化共生教育の充実】 外国にルーツを持つ生徒への異なる文化や価値観に対する理解を深め、各学年の実態に応じて多文化共生教育を推進する。（国際理解教育G）</p>	
<p>指標 ・共生支援拠点校とも連携し多文化共生の取り組みを年1回は実施する。 ・日本語教室で学習した生徒対象にアンケートを実施し、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p> </p>	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																								
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を93%以上にする。 ・大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を70%以上にする。 ・年度目標アンケートにおける「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。 ・中学生チャレンジテストにおける、国語及び数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1P以上向上させる。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">1年（79期生）</th> <th colspan="2">2年（78期生）</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>国語</th> <th>数学</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年度</td> <td>1.00</td> <td>0.99</td> <td>1.02</td> <td>1.11</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td></td> <td></td> <td>1.03</td> <td>1.03</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「授業やCTの時間などで「聞き取る」「考える」「伝える」の3つの力を身につけていますか。」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。（前年度 39.0%） ・年度末の校内調査における「授業に意欲的に取り組んでいますか。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度以上にする。（前年度 91.2%） ・年度末の校内調査における「学校からの教材などを活用して家庭学習の習慣化ができていますか。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度以上にする。（前年度 69.9%） ・年度末の校内調査における「保健体育の授業や部活動をとおして基礎体力の向上に取り組んでいる。」に対して、最も肯定的な「できている」または「そう思う」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。（前年度 65.1%） 		1年（79期生）		2年（78期生）		国語	数学	国語	数学	令和7年度	1.00	0.99	1.02	1.11	令和6年度			1.03	1.03	令和5年度					
		1年（79期生）		2年（78期生）																					
	国語	数学	国語	数学																					
令和7年度	1.00	0.99	1.02	1.11																					
令和6年度			1.03	1.03																					
令和5年度																									

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑩【4-2 主体的・対話的で深い学びの推進】 「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進める」ことを念頭とした研究授業を行う。(校内研修 G)</p> <p>指標 必ず年1回は全職員が指導案を作成する。また、全体研修会と授業研究・研究協議を実施する。</p>	
<p>取組内容⑪【4-2 主体的・対話的で深い学びの推進】(各学校の実態に応じた個別支援の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校元気アップ事業を通して、地域の教育力を広く取り入れる。 ・日本語による通級指導教室との連携を密にして、外国籍の生徒の学校生活を充実させる。(校務運営部) <p>指標 ・「放課後学習会」「テスト前自主学習」等を実施するとともに、各種コンクールや検定試験への参加を促す。 ・日本語による通級指導教室との連携を月3回以上行う。</p>	
<p>取組内容⑫【4-3 英語教育の強化】 各学年、英語教育のきめ細かな指導体制による英語力の充実にを図る。(英語科)</p> <p>指標 ・チャレンジテストにおいて大阪府の平均正答率を2.0ポイント上回る。 ・大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑬【4-4 全市共通テスト等の実施と分析・活用】 全国学力・学習状況調査、各学年中学校チャレンジテスト・チャレンジプラスの対策を授業・宿題等で行う。(校務運営部)</p> <p>指標 ・中学校チャレンジテストにおける5教科の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も上回る。 ・中学生チャレンジテストにおける、国語及び数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ・中学校チャレンジテストの前後で教科会を実施し、分析・情報共有を行い、教科全体として対策を行う。</p>	
<p>取組内容⑭【5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進】 基礎体力・運動能力の向上。体育的知識の理解促進。(保健体育科)</p> <p>指標 年度末の校内調査における「保健体育の授業や部活動をとおして基礎体力の向上に取り組んでいる。」に対して、最も肯定的な「できている」または「そう思う」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。(前年度65.1%)</p>	
<p>取組内容⑮【5-2 健康教育・食育の推進】 ・食育だよりを発行し、食への興味・関心を引き出すとともに、自立や自己管理へ</p>	

<p>つなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身に日常の健康観察に気をつけ、感染予防に努めるように啓発する。 ・食委員会を開き、校内のアレルギー生徒の把握し体制を整える。 <p style="text-align: right;">(給食・食育G)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回食育通信を発行し、食の啓発を行う。 ・保健だより等で家庭への働きかけを行う。 ・学期に1回以上給食委員会を開き、各学年と連携を取りながら情報を共有行う。 	
<p>取組内容⑩【4 小中一貫した教育の推進】</p> <p>校下小学校と中学校との連携を深め、中学1年生ギャップをなくし、中学校進学をスムーズに進める。</p> <p style="text-align: right;">(校務運営部)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校の相互授業参観を行う。 ・中学校にて部活動見学を実施する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【国語科】

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
図書室の利用や社会生活に生かせる知識・技能と、生徒の「読解力」の向上に努める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 社会生活に生かせる知識・技能を活用した授業を実践する。	
指標 ・話し合い形式の授業や ICT を活用した授業を各学年で3回以上実践する。 ・授業アンケートにて「授業がわかりやすい」の項目において、肯定的な回答が85%以上になるように教育活動に取り組む。	
取組内容② 本に触れ合う機会を増やし、表現力を高める。	
指標 ビブリオバトルや読書郵便等の読書活動を授業で取り組む。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【社会科】

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
大阪府チャレンジテストにおいて、大阪府の平均を上回る。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 社会科に興味・関心を持ち、主体的に授業に取り組ませるため、グループワークを行い、学びを充実させる。	
指標 授業アンケートにて「授業がわかりやすい」の項目において、肯定的な回答が85%以上になるように教育活動に取り組む。	
取組内容② 定期的に小テストや振り返りシートを行うなどし、基礎・基本の習得に努める。	
指標 单元ごとに小テストや振り返りシートを実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【数学科】

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
大阪府チャレンジテストにおいて、対府比の値を前年度以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 簡単な計算問題など、基礎・基本の習得に努める。	
指標 班学習やグループワークを行い、理解を深める。基礎学力向上の為、問題演習量を確保する。	
取組内容② 生徒の苦手とする設問を把握する。	
指標 ・小テストを週に1度以上行い、生徒の実情を把握し、授業改善に充てる。 ・チャレンジテストの前では、苦手な設問をできるように取り組ませる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【理科】

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
理科が身近な生活に密接に関わっていることを知り、理科への興味関心を高める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 理科を身近に感じるように、実験・観察をベースとした授業を行う。	
指標 理科室を使用した授業を単元に1回は行う。	
取組内容② 主体的で対話的な深い学びを実践した授業を展開する。	
指標 授業アンケートにおいて、「授業がわかりやすい」の肯定的な意見が85%以上になるようにする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【英語科】

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジテストにおいて大阪府の平均正答率を2.0ポイント上回る。 ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を70%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 個に応じた指導方法を工夫し、基礎的・基本的な学力の向上を図る。	
指標 「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を相互的に学ぶために、授業内においてグループ学習やペア学習を積極的に取り入れる。	
取組内容② 英語を活用する実践的な力と積極的な態度を育成する。	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・C-NETの授業を各学年、毎月1時間程度実施する。 ・自己表現の発表活動を学期に1回行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【音楽科】

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
表現及び鑑賞の活動を通して、豊かな感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培う。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 協働的な取り組みを通して音楽活動における主体的・対話的で深い学びを実現する。	
指標 アンサンブル活動、グループワークでの問題解決の機会を多く設ける。	
取組内容② 歌唱、器楽、鑑賞、創作の4つの領域をバランスよく取り入れる。	
指標 曲想と音楽の要素との関わりを論理的に批評できるようになる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【美術科】

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
表現及び鑑賞の幅広い活動を通じて、美術や美術文化に親しみ、美術を愛好する心情や態度を育てる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①</p> <p>表現活動において、対象や事象を造形的な視点で捉え、発想・構想し、材料や用具を適切に扱いながら創造的に表現する力を育成する。</p> <p>指標</p> <p>材料や用具を適切に扱い、発想や構想を生かして、工夫しながら主体的に表現活動に取り組んでいる。</p>	
<p>取組内容②</p> <p>鑑賞活動を充実させ、作品や美術文化のよさや美しさを感じ取り、自分の考えを伝え合う活動を通じて、主体的に学ぶ態度を育成する。</p> <p>指標</p> <p>作品の良さや作者の意図を自分の言葉で説明し、友達の作品の良さを見つけて伝えながら、表現や鑑賞に意欲的に取り組んでいる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【保健体育科】

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
子どもの体力向上に繋がる授業改善に取り組み、運動に対する興味関心を高める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 保健体育の授業や学校、学年での体育的行事、部活動等を通して、運動やスポーツに慣れ親しむとともに、体力向上に向けての取組を実施する。</p> <p>指標 令和8年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の質問において、「運動やスポーツをすることが好きですか」の項目への肯定的な回答を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容② 授業で、補強運動を取り入れて、筋力強化を図り、健やかな生徒の体力育成に努める。</p> <p>指標 年度末の校内調査における「保健体育の授業や部活動をとおして基礎体力の向上に取り組んでいる。」に対して、最も肯定的な「できている」または「そう思う」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。（前年度65.1%）</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【技術・家庭科】	評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
		C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
自分自身の生活と人生について考え、将来を見つめながら自分らしく自立して生きるための力を主体的に身につける。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①</p> <p>単元の特性に合わせて協働学習を行い、思考力や判断能力を高める授業づくりを行う。</p> <p>指標</p> <p>学期に1回以上のグループ学習を実施し、コミュニケーション能力を伸ばす。また、ICTを中心に用いた授業を単元に応じて実施する。</p>	
<p>取組内容②</p> <p>生活を豊かにするための知識・技能を定着させ、主体的に実践し、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育む。</p> <p>指標</p> <p>技術家庭の年度末アンケートを授業内で実施し、そのアンケートで「授業での学びは、現在の自分の生活の中で役立っている、もしくは今後の生活で役に立つと思う」の項目で、肯定的な回答を90%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

【特別支援教育】	評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
		C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
生徒一人ひとりの学習面、生活面の課題を把握して達成感や満足感を感じさせ、資質の能力を高める。また体験や自立活動を行い豊かな情緒や、創造性、社会性を育てる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 生徒一人ひとりを意識的に観察して、個別の指導計画、教育支援計画を見直す。	
指標 保護者との個別の懇談を年2回以上行い、その都度個別の指導計画、教育支援計画を更新していく。	
取組内容② 自立活動や大阪市特別支援学級の行事に参加し、創造性や社会性を育てる。	
指標 ・大阪市特別支援学級の合同運動会、ふれあいデイキャンプ、作品展の行事に参加する。 ・抽出授業などで生徒一人ひとりに応じた自立活動を行い、学習上、生活上の困難を主体的に改善・克服できるようにする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立花乃井中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標													達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を50%以上にする。 ・年度目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。 ・年度目標アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を71%以上にする。 ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月40時間以下とする。 ・毎月における時間外勤務が80時間を超える教職員の割合を前年度より減少させる。 													
月(令和7年度)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
月の時間外勤務が80時間を超えた割合	20%	10%	16%	14%	2%	14%	27%	4%	2%	2%	0%	8%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑰【6-1 ICTを活用した教育の推進】</p> <p>学習者用端末のさらなる活用へ向けて、情報教育部からの情報提供を積極的に行う。特に classroom の活用については重点目標とする。また、情報モラル講座を生活指導部と連携して実施計画を立てていく。(情報教育部)</p>	
<p>指標</p> <p>情報モラル講座(年1回)、ICT関連の校内研修(各学期1回)、情報提供(月1回)とそれぞれの目標回数取り組みを実施する。</p>	
<p>取組内容⑱【7-1 働き方改革の推進】</p> <p>生徒指導事案対応を除き、教職員全員が19時00分に退勤する、職員室の気質を作る。(管理職)</p>	
<p>指標</p> <p>「ゆとりの日」改め、「ノー残業デー」を月に4回実施していることから、教職員全員が19時00分に退勤する日数を月に4日間以上にする。</p>	
<p>取組内容⑲【8-3 学校図書館の活性化】</p>	

<p>開館時間を増やし、生徒と教員の利用機会を拡大させる。また、蔵書冊数を確保し、多様なメディアにも留意して、幅広い資料をそろえる。 (図書委員会)</p>	
<p>指標 本市調査における、生徒 1 人当たりの学校図書年間貸出冊数を前年度以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	